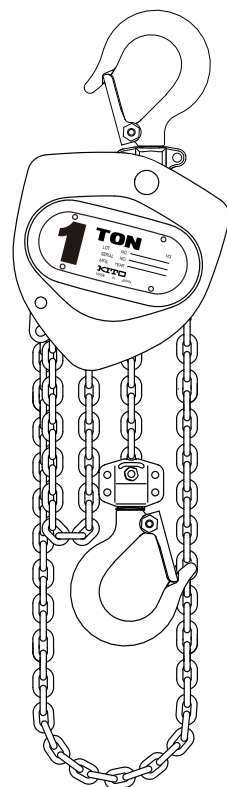


キトーマイティ®
M3形チェーンブロック
取扱説明書



- 使用される方および保守管理される方は、必ずお読みください。本書をお読みになった後は、いつでも読めるよう、手元に保管しておいてください。
- 梱包箱の中身を確認してください。
①キトーチェーンブロック M3形 ②取扱説明書（本書）
- ご注文の仕様に間違いはありませんか。
- 本製品は、環境に配慮して設計しており、欧州RoHS指令に定められた特定有害6物質などを含有していません。

はじめに

このチェーンブロックは人間の手動力を使って、通常の作業環境下で、荷を垂直に上下移動させる作業を目的に設計製作したものです。トロリとの組み合わせで、水平方向への移動も可能です。

この取扱説明書は、実際にキトーチェーンブロック M3 形をお使いになる方を対象として、内容をまとめてあります。

定期点検・故障修理などを管理される保守管理者※を決めてください。保守管理者の方のために、別途「定期点検基準マニュアル」「故障の原因と対策」「分解組立マニュアル」「部品表」などの資料も準備しております。最寄りのキトーまでお申し付けください（各カスタマーセンターの連絡先は、裏表紙をご覧ください）。

※：チェーンブロックの構造や仕組みに関し精通し、専門知識を有すると事業者により認められた方または、構造や仕組みに関し精通し、「定期点検基準マニュアル」や「分解組立マニュアル」を理解できる方この条件を満たさない場合は、キトーにご相談またはご依頼ください。

安全上のご注意

チェーンブロックの使い方を誤ると、つった荷の落下などの危険な状態になります。取り付け・使用・保守点検の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。機器の知識・安全の情報、そして注意事項の全てについて習熟してからご使用ください。

この取扱説明書では、注意事項を「危険」「注意」の2つに区分しています。

また、本チェーンブロックの取り扱いに関連する機器（トロリなど）の取扱説明書もお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



危険

取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみが想定される場合。

なお、[注意]に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

図記号の説明



禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



強制

ⓘは、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- ・ 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他使用環境条件を逸脱した使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・ 本製品の使用中または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、つり荷の損傷など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・ 取扱説明書の記載内容を守らないこと、および仕様範囲を超えたことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・ 弊社が関与しない機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

用途制限について

- 人間の運搬用途として設計・製作されたものではありませんので、人間の運搬用途として使用しないでください。
- 人間の手動力を使って、通常の使用環境条件において、荷を垂直に上下移動させる作業を目的に設計・製作されたものです。動力を用いて荷の上下移動をしないでください。
トロリとの組み合わせで水平移動は可能です。用途を決定するに当たっては、設計・製作目的に則り用途を決定・判断してください。
- 本チェーンブロックは使用される条件が多様なため、使用に当たっての適合性の決定はお客様自身が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。性能、安全性の保証は適合性を決定した人の責任になります。

使用する方について（適用法規）

- 手動チェーンブロックのご使用に際し、法規上特段の規制はありません。しかし安全確保のために、「クレーン等安全規則」に該当しない場合であっても、チェーンブロックを使用される方は、玉掛け技能やクレーンの運転教育を受講されることを推奨します。
- この取扱説明書および関連機器の取扱説明書を熟読し、内容を理解した上で使用してください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一不可解な点や、誤り、お気づきの点がございましたら、ご一報くださいますようお願いいたします。

■ 取り扱い全般・管理について

⚠ 危険



禁止

チェーンブロックを取り扱う場合は、次の取り扱いをしないでください。

これらの取り扱いをすると、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

- 保守管理者以外の方は、分解・修理をしないでください。
保守管理用としての「定期点検基準マニュアル」「故障の原因と対策」「分解組立マニュアル」は別途準備しています。分解・修理などはこれらの資料により、保守管理者が行ってください。
- つり荷の下や、つり荷の動く範囲に入らないでください。
また人の頭上を越えて荷を運搬したり、つり荷の動く範囲に人を立ち入りさせないでください。
- 製品及び付属品の改造はしないでください。



強制

チェーンブロックを取り扱う場合は、次の内容を守ってください。

これらの取り扱いを守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

- 取扱説明書および警告ラベルの内容をよく理解した上で、使用してください。
- 使用前に日常点検を実施してください。
- 定期点検（1ヶ月ごと、1年ごと）を保守管理者に依頼するか、弊社にご依頼ください。
- 定期点検の記録は保管してください。

目次

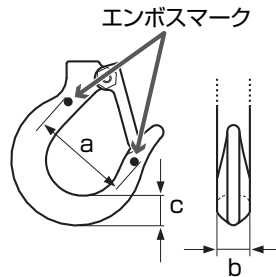
はじめに.....	2
安全上のご注意.....	2
梱包を開けて.....	4
各部名称 / 諸元.....	4
使用環境条件.....	4
使用上の安全注意事項.....	5
使用後のお手入れと保管.....	9
オプション仕様.....	9
保守点検と保管について.....	10
品質保証書.....	11
お問い合わせ先.....	12

梱包を開けて

- 箱の表示および製品がご注文の内容と一致しているかご確認ください。
 - 輸送中の事故などで製品が変形・破損していないかご確認ください。
 - LOT NO. および SERIAL NO. (製品のネームプレートに記載)・ご購入年月日・ご購入販売店名を右の枠に書き入れてください。
- ※修理や部品の必要なときは、この情報もあわせてご連絡ください。

LOT NO.	
SERIAL NO.	
MFG. YEAR	
ご購入年月日	年 月 日
ご購入販売店名	

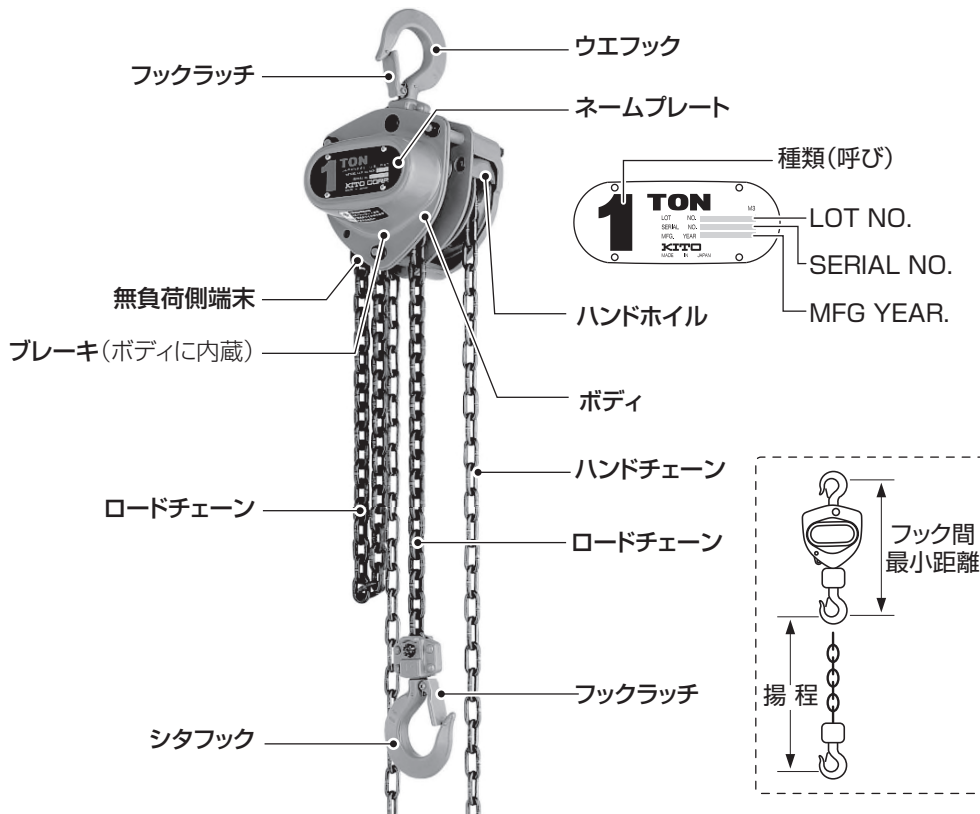
- 保守・管理のため、開梱時には上下フックのエンボスマーク間の開き寸法 a と、上下フックのフック幅 b およびフック厚み c 寸法を、右の枠に記入してください (これらの数値は点検時に使用します)。



開梱時寸法

上フック	a 寸法	mm
	b 寸法	mm
	c 寸法	mm
下フック	a 寸法	mm
	b 寸法	mm
	c 寸法	mm

各部名称 / 諸元



■ 諸元

種類 (呼び) (T)	形式	定格荷重 (t)
1/2	CB005	0.5
1	CB010	1
1 1/2	CB015	1.6
2	CB020	2
2 1/2	CB025	2.5
3	CB030	3.2
5	CB050	5
7 1/2	CB075	7.5
10	CB100	10
15	CB150	16
20	CB200	20
30	CB300	32
40	CB400	40
50	CB500	50

使用環境条件

使用温度範囲	-40℃～ +60℃
使用湿度範囲	100%RH 以下でお使いください。水中での使用はできません。
使用部材	標準的部材を使用しています。 スパークレス等の特殊材やアスベスト材は使用しておりません。 環境負荷物質に関し、RoHS 指令に定められた 6 物質は本製品では含有しておりません。

- チェーンブロックは次の環境下で使用しないでください。
 - ・アルカリ性・酸性雰囲気の場合
 - ・有機溶剤・爆発性雰囲気の場合

なお、塩分の多い場所や、屋外使用が特に多い場所など、上記の使用環境以外でのご使用を希望される場合は、保守・点検を頻繁に行うことで使用できる場合があります。その場合は、事前にキトーにご相談ください。

■取り付けについて

⚠ 危険



禁止

チェーンブロックを取り付ける場合は、次の内容をしないでください。

これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

- ・取り付けは専門業者、専門知識のある人以外には行わないでください。
- ・トロリなど他の動く装置（設備）の可動区域に据え付けしないでください。

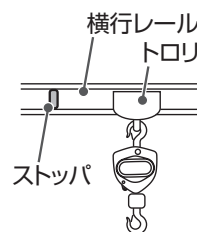


強制

チェーンブロックを取り付ける場合は、次の内容を守ってください。

これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

- ・チェーンブロックを取り付ける構造物の強度が十分であることを確認してください。
- ・ウエフックをしっかりと構造物に掛けてください。
- ・トロリと連結して使用される場合、トロリの取扱説明書を熟読し、組立・レール幅の調整を行い取り付けてください。
- ・トロリの横行レールの両端末には、ストッパを取り付けてください。



⚠ 注意

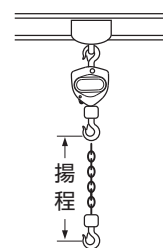


強制

チェーンブロックを取り付ける場合は、次の内容を守ってください。

これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

- ・チェーンブロックは、動きを拘束されないように取り付けてください。
- ・チェーンブロックは、荷をつり上げたときにウエフックとシタフックのみに荷重がかかるように取り付けてください。
- ・チェーンブロックの揚程は作業に十分な長さのものを取り付けてください。
- ・チェーンブロックの可動部のすきまに指や手をはさまないように注意して取り付けてください。



使用方法

【ホイールカバー側】

ホイールカバー側から見て、左のハンドチェーンを引き下げると、巻き下がります。

左 ↓ 巻き下げ

右 ↓ 巻き上げ



ホイールカバー側から見て、右のハンドチェーンを引き下げると、巻き上がります。

使用上の安全注意事項

■始業前チェック（日常点検）について

⚠ 注意



強制

チェーンブロックを使用する前に次の内容を実施・確認してください。

確認中に異常を発見した場合は、使用せずに「故障・点検中」の表示をし、点検・修理を保守管理者に依頼してください。

これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

- ・使用前に「日常点検」（6ページ参照）を実施してください。
- ・玉掛用具に、異常がないか確認してください。
- ・作業内容を確認、余裕のある定格荷重・揚程のチェーンブロックを確認してください。
- ・作業環境を確認、ハンドチェーンを鉛直に引ける作業場所の確保と、作業の邪魔になるような障害物が無く、作業範囲が見渡せるか確認してください。
- ・足場はしっかりしているか確認してください。
- ・作業開始時には、周りの人に作業開始を知らせてください。

点検には、使用される方が使用前に行う「日常点検」と、十分な知識があり、かつ分解作業が可能な保守管理者が行う、より詳細な「定期点検」（1ヶ月ごと、1年ごと）があります。

- ・チェーンブロックを安全にご使用になるために、必ずこれらの点検を行ってください。
- ・定期点検についてはより詳細な「定期点検基準マニュアル」の他に、「分解組立マニュアル」「故障の原因と対策」「部品表」などの管理者用資料もご用意しております。最寄りのキトーまでお申し付けください（各営業所の連絡先は、裏表紙をご覧ください）。

■始業前チェック（日常点検）

フック

- ・ ウエフック/シタフック共に変形や傷の無いこと。
- ・ ウエフック/シタフック共にフック首部が軽く回転すること。
- ・ ウエカナグ/シタカナグ固定用のボルト/ナットに緩みの無いこと。

フックラッチ

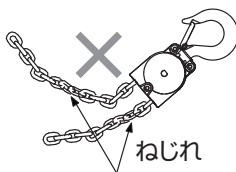
- ・ フックラッチが閉じていること。
- ・ フックラッチに変形や傷の無いこと。
- ・ 開閉動作がスムーズなこと。

無負荷側端末

ロードチェーン

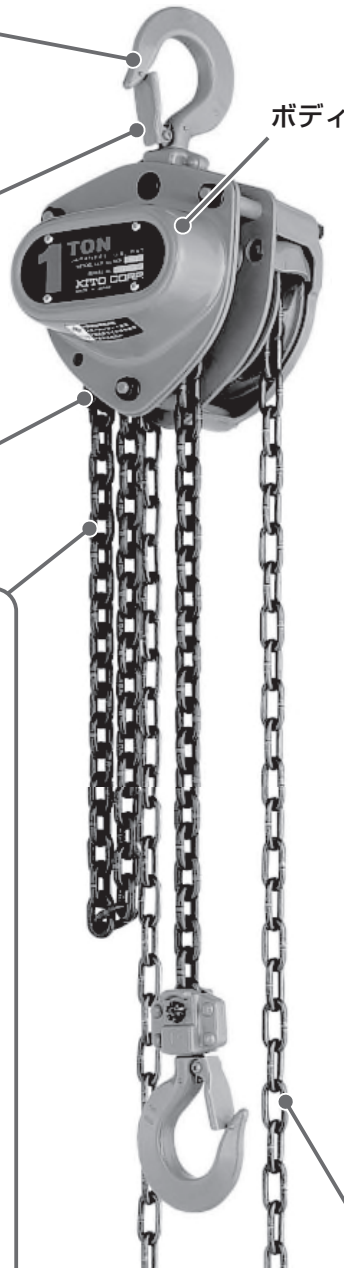
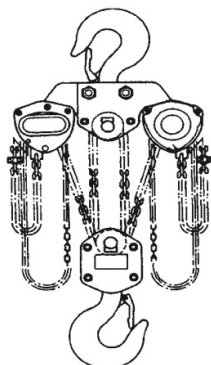
- ・ 無負荷側端末がボディに固定されていること。
- ・ 変形・傷・もつれ・絡まりの無いこと。
- ・ 目立つほどの錆の無いこと。
※錆がある時は除去してください。
- ・ ロードチェーンに油が付いていること。
※油が付いていない時は、ロードチェーンに付着したゴミや水滴を取り除いて、潤滑油を塗布してください。
(潤滑油形さび止め油 1 種 2 号、または溶剤希釈形さび止め油 3 種 2 号相当を推奨)
ロードチェーンに油を塗布できないご使用環境のときは、キトーまでご相談ください。

- ・ ダブルタイプのシタフックがトンボして、ロードチェーンがねじれていないか。



20t 以上の場合

- ・ 垂直負荷側のロードチェーンのたまりの長さに段差はないか。
※段差のある時は、無負荷で 2 台の本体を最後まで巻き下ろし操作してください。段差を調整できます。



外観

- ・ ネームプレートがしっかり付いており、表示内容がはっきり読めること。
- ・ ボルト・ナットの緩み、脱落が無いこと。
- ・ 外観上、傷や破損が無いこと。
- ・ 警告ラベルがはがれていないこと。

巻上げ

シタフック側のロードチェーンを片手で軽く引っ張りながら、もう一方の手で巻上げ操作を行う

- ・ ブレーキ装置のツメの「カチカチ」という動作音が聞こえ、スムーズに動作すること。
- ・ 操作を止めたときにシタフックが停止すること。

※シタフックがロードチェーンやハンドチェーンに絡まっているときは、絡みを無くすこと。

巻下げ

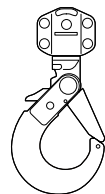
シタフック側のロードチェーンを片手で軽く引っ張りながら、もう一方の手で巻下げ操作を行う

- ・ 巻下げ時には音がせず、スムーズに動作すること。
- ・ 操作を止めたときにシタフックが停止すること。
- ・ 巻き下げできない場合は、巻下げ過ぎでないことを確認し、ハンドチェーンを一瞬強く引いて巻下げ操作をしてください。

それでもできない場合は、保守管理者またはキトーまでご相談ください。

ハンドチェーン

- ・ 変形・傷・もつれ・絡まりの無いこと。



ラッチフックロック仕様 (オプション)

(1/2T ~ 3T まで対応)

⚠ 危険



強制

何か異常を発見したときは、直ちに使用を中止し、修理するか正常な製品に交換してください。

この内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

⚠ 危険



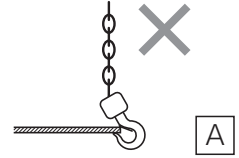
禁止

チェーンブロックを次に示すような使用はしないでください。

これらの使用をすると、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

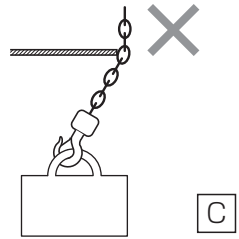
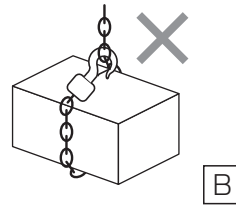
〈一般〉

- ・ロードチェーンは専用チェーンですので、他機種のチェーンを使用しないでください。交換は分解組立マニュアルを参照し、保守管理者が新しい本機純正部品と交換してください。
- ・チェーンブロックは人間の手動力以外で操作しないでください。
- ・荷をついた状態で長時間放置しないでください。
- ・荷をついた状態でチェーンブロックの分解はしてはいけません。



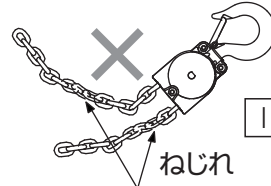
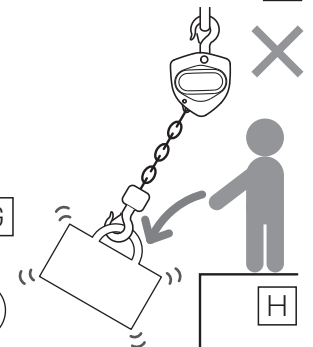
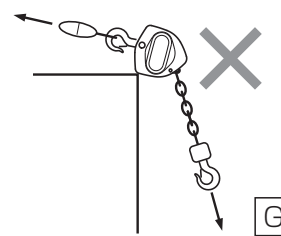
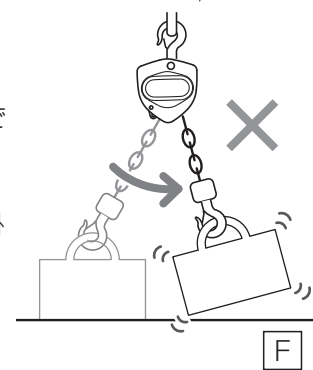
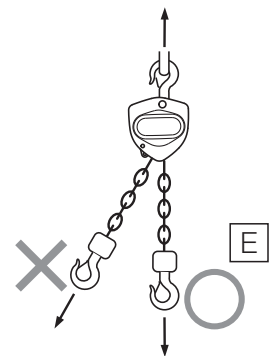
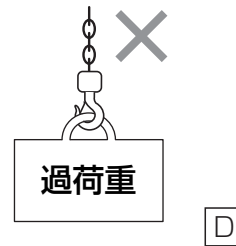
〈玉掛け〉

- ・フックラッチの外れたフックは使用しないでください。
- ・フックの先端やフックラッチに、荷重を掛けないでください。《図 A》
- ・ロードチェーンをつり具代わりに、荷に巻き付けて使用しないでください。《図 B》
- ・ロードチェーンを鉄板等の角にあてて操作しないでください。《図 C》



〈つり上げ〉

- ・定格荷重を超える荷をつり上げないでください。《図 D》
- ・荷をロードチェーンやハンドチェーンに接触させないでください。
- ・ロードチェーンに触れたまま、つり上げないでください。
- ・つった荷を揺らさないでください。
- ・荷をつり上げたときに、ウエフックとシタフックが荷重方向に真っ直ぐにならない場合は、使用しないでください。《図 E》
- ・荷を地面からつり上げたとき、荷がゆれるつり方はしないでください。《図 F》
- ・また、トロリ付きの場合、トロリに無理な力が掛からないよう、トロリの真下で荷をつり上げてください。
- ・ロードチェーンがたるんだ状態で一気につり上げないでください。
- ・つり具として使用する場合には、ハンドチェーンをつり荷や構造物などに引っ掛けないでください。
- ・本体を支点にするような状態では、使用しないでください。《図 G》
- ・荷台などからつり上げるときに、荷を掛けた状態で落下させるような衝撃荷重をかけないでください。《図 H》
- ・シタフックがトンボし、ロードチェーンがねじれた状態で使用しないでください。《図 I》
- ・巻上げ過ぎ、巻下げ過ぎ作業はしないでください。
- ・二人以上で同時にハンドチェーンを引っ張らないでください。



■使用中について（つづき）

⚠ 危険



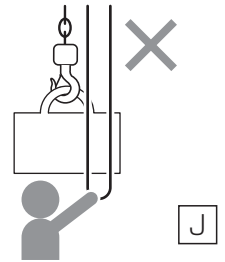
禁止

チェーンブロックを次に示すような使用はしないでください。

これらの使用をすると、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

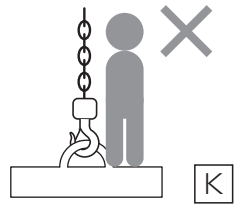
〈運搬・移動〉

- ・荷の真下で操作したり、人の頭上を越えて荷を運搬しないでください。《図 J》
- ・つった荷には乗らないでください。また、人を支えたり、つり上げたり、運ぶ等人の乗る用途には使用しないでください。《図 K》
- ・本体やトロリを、横行レールのストッパや構造物に衝突させないでください。



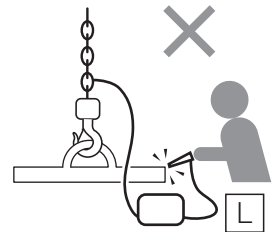
〈つり上げての作業〉

- ・鉄板をつった状態で、溶接や切断作業をしないでください。
- ・ロードチェーンを溶接作業のアースとして使用しないでください。《図 L》



〈異常・故障発生〉

- ・損傷を受けたり、異常があったり、異音がするチェーンブロックを使用しないでください。
- ・ロードチェーンに次の異常があるときは使用しないでください。
 - ・変形、ねじれ、もつれ、傷、亀裂、異物付着、腐食、かみ合い異常があるもの
 - ・伸び、摩耗が大きいもの
- ・故障中・修理中のチェーンブロックは使用しないでください。



強制

チェーンブロックを使用する場合は、次の内容を守ってください。

これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

〈玉掛け〉

- ・荷重、形状に最も適した玉掛用具（つり具）を使用してください。
玉掛の方法が不良の場合、つり荷が落下するなどの大変危険な状態になります。

〈つり上げ〉

- ・手動力が異常に大きくなった場合は直ちに操作を中止してください。

〈つり上げての作業〉

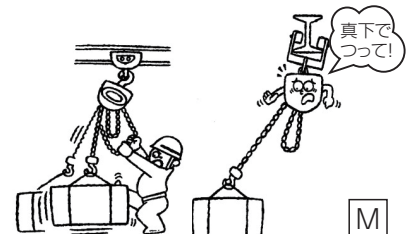
- ・チェーンブロックの修理・分解は、製品を床に降ろして保守管理者が行なってください。

〈異常・故障発生〉

- ・使用中に異常を発見したときは、直ちに使用を中止し「故障・点検中」の表示をし、点検・修理を保守管理者に依頼してください。

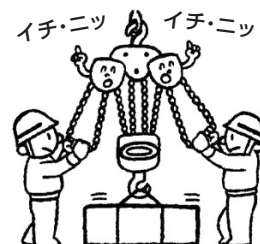
〈斜め引きつり作業〉

- ・斜め引きは地切りの時、荷が揺れます。十分注意してください。
- ・トロリ付の場合、斜め引きはトロリに無理な力がかかります。トロリの真下でつってください。《図 M》



〈20t 以上大容量〉

- ・操作は必ず 2 人以上で行ってください。《図 N》
- ・片側だけで作業せず、両方の本体を同じ量だけ操作してください。《図 N》



■使用中について (つづき)

⚠ 注意



禁止

チェーンブロックを次に示すような使用はしないでください。

これらの使用をすると、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

- ・ ハンドチェーンがもつれたり、絡まるような操作をしないでください。
- ・ 溶接等による火花を、チェーンブロックに付着させないでください。
- ・ フックに無理な力の掛かるような荷台の掛金には、直接フックを掛けないでください。
- ・ つり荷やハンドチェーンを他の構造物などに引っ掛けないでください。
- ・ 巻下操作中、荷が大きく上下に揺れたら、揺れが収まるまでしばらく操作しないでください。



強制

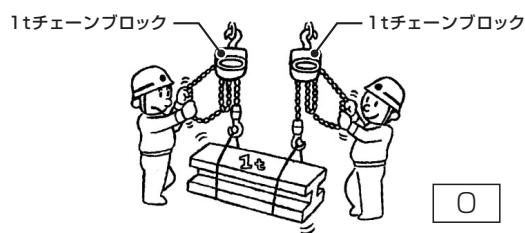
チェーンブロックを使用する場合は、次の内容を守ってください。

これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

- ・ ロードチェーンのねじれは直してから、荷をつり上げてください。
- ・ ロードチェーンおよびハンドチェーンが、もつれたり絡まった時は直ちに作業を停止し、もつれ・絡まりをほどいてください。

〈2丁つり作業〉

- ・ 2丁つり作業の場合は、それぞれ1台のチェーンブロックで、その荷をつり上げる事ができる定格荷重のチェーンブロックを使用してください。【図O】
また荷は水平につり上がるように、それぞれのチェーンブロックを操作してください。【図O】



使用後のお手入れと保管

ご使用の後は、10ページの「保守点検・保管について」をよくお読みになり、記載事項を守ってください。

●お手入れ

- ・ 持ち運びするときは、引きずったり、放り投げたりしないでください。
- ・ ブレーキ部分への注油は絶対にしないでください。
- ・ 汚れや水気を拭い、フックの首部やロードチェーンに塗油してください。

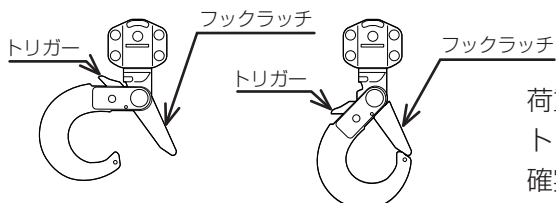
●保管

- ・ 使用しないときは他の作業の邪魔にならないようにしてください。
- ・ 湿気の少ない屋内に保管してください。
- ・ 屋外設置の場合、常に雨ざらしになるのを避けるため、カバーをかけるか雨覆いのある場所に保管してください。

オプション仕様

お客様の環境に合わせたいくつかのオプションを準備しております。一層の安全作業にお役立てください。

- ・ ニッケルめっきチェーン・・・ニッケル処理した錆に強いロードチェーン
- ・ オーバーロードリミッター・・・ハンドホイール部に備え、万一、オーバーロードした場合に巻上動作を遮断するキート独自の安全装置（過負荷防止装置）
- ・ ラッチロックフック・・・シタフックをラッチロックフックタイプに交換し、つり具のはずれを防止する。（1/2T～3Tまで対応）



荷重が掛かるとフックラッチが閉まり、ロック装置（トリガー）が働く。トリガーを押さないとフックが開かないため、つり具のはずれを防止し、確実に保持する。

<開いている時>

<閉じている時>

保守点検・保管について

⚠ 危険



禁止

チェーンブロックの保守点検は、保守管理者以外の方は行なわないでください。

保守管理者以外が行うと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

保守管理者は、「定期点検基準マニュアル」「故障の原因と対策」「分解組立マニュアル」などの資料により、保守点検を行ってください。

- ・ロードチェーン・ハンドチェーンの切断・継ぎ足し・溶接はしないでください。
- ・ブレーキ部に油を付けないでください。
- ・部品交換の際は、キトーチェーンブロック M3 形用純正部品以外は使用しないでください。
キトーチェーンブロック純正部品であっても、モデルが異なると使用できない場合があります。

⚠ 注意



強制

チェーンブロックの保守点検・保管は、次の内容を守ってください。

これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

- ・修理の必要なチェーンブロックは「故障・点検中」等の名札を付け、誤って使用されないよう区別してください。
- ・保管する場合は、汚れや水滴を拭き、フックの首部やロードチェーンに塗油して屋内に、荷をつらないで保管してください。

廃棄について

⚠ 注意



強制

本製品を廃棄する場合は、使用できないように分解し、地方自治体の条例または事業者が定めた規則にしたがって廃棄してください。

詳しくは、地方自治体および関係部門にお問い合わせください。

なお、分解のしかたは「分解組立マニュアル」を参照するか、弊社にお問い合わせください。

品質保証書

キトー製品をご購入いただき誠にありがとうございます。弊社では部品ひとつひとつまで、徹底した品質管理のもとに製品づくりをしておりますが、万一不具合が発生した場合は、本保証書に基づき次のとおり保証いたします。

1. 保証の範囲

保証期間内において、取扱説明書（オーナーズマニュアル）、本体警告表示などの注意書きに従って使用したにもかかわらず、設計、製造、資材等の原因により故障、破損等が生じた場合は、本保証書記載内容に基づき、無償にて修理いたします。

2. 保証期間

現品お引渡し日から 1 年間といたします。

3. 保証対象外の事項

保証期間内においても次の事項に該当する場合は保証対象外とし、有償修理となる場合があります。

- (1) 定格以上の荷重で使用されたとき。
- (2) 製品仕様を超える環境で使用されたとき。
(ばい煙・薬品・塩害等の外部要因の存在または特殊環境下での使用)
- (3) 取扱説明書等に指定する保守点検および使用後の手入れを実施されなかったとき。
- (4) 保守、整備の不備または間違いによる故障。
- (5) 製品または付属品を改造されたとき。
- (6) 純正部品及び指定の油脂を使用しなかったとき。
- (7) その他、取扱説明書等の指示に反して使用されたとき。
- (8) 地震、台風、水害等の天災および事故、火災に関する損傷
- (9) 使用損耗または経年変化に起因する不具合
※以下の部品は使用損耗部品とし、これらの損耗による故障・破損は本保障の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
(ロードチェーン、ウエフック、シタフック、油脂類)

なお、本製品の故障による生産ダウン等の二次損害については補償いたしかねます。
このような事態が予想される場合には、あらかじめ代替機等を準備してください。

4. 修理の受け方

修理をお受けになる場合には、保証書を添えて購入もとまでご連絡ください。
LOT NO., SERIAL NO., MFG. YEAR 及び購入年月日もあわせてご連絡ください。

5. 保証の適用

この保証書は日本国内においてのみ有効です。

お問い合わせ先

■ カスタマーセンター／Customer Center of Japan

東部カスタマーセンター	Tokyo	〒163-0809	東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NSビル 9階
			《TEL》0120-994-404 《FAX》0120-994-504
西部カスタマーセンター	Osaka	〒570-0003	大阪府守口市大日町 2-10-3
			《TEL》0120-959-488 《FAX》0120-959-499
西部カスタマーセンター	Nagoya	〒465-0025	愛知県名古屋市名東区上社1丁目908 エプタ上社3F
			《TEL》0120-929-965 《FAX》0120-929-966

■ お客様相談センター／Customer Service Center

受付時間 9:00～17:00（土・日祝日を除く）

《TEL》0120-988-558 《FAX》0120-988-228 《URL》<https://www.kito.co.jp/contact/>

■ 本社／Head Office

本社工場 Head Office & Factory

〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 2000

東京本社 Tokyo Head Office

〒163-0809 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NSビル 9階

無断転載・複写禁止

この取扱説明書は、事前の予告なく一部内容を変更することがあります。

この取扱説明書または、製品に関するお問い合わせは、弊社もしくは販売店までご連絡ください。

本製品は日本国内での使用を前提として設計・販売されております。本製品を日本国外で使用する場合は、製品仕様が使用国の法令、規格へ適合していない可能性がありますので、事前に弊社までご相談ください。

また、本製品の日本国外での修理や部品販売などのアフターサービスには対応いたしかねますので、あらかじめご了承ください。